



Keio University Press

2022年

慶應義塾大学出版会 NEWS

11月号

スタッフから一言



今月は、10月・11月の新刊に合わせたフェア企画・ミニコーナーのご提案が3点ございます。

まずは、前回の新刊案内でも予告していましたが10月刊『犬に話しかけてはいけない』刊行記念フェア「はじまりのアラスカ——動物・自然・神話と生きる」です。極北の地アラスカで生きる先住民たちは、動物たちあるいは精霊や小人、オーロラなどと、どのような世界を構築しているのか。その様子が垣間見れるような書籍を32点集めました。本フェアの申込書を同封しますので、ぜひご覧ください。

2点目は、11月新刊『分析フェミニズム基本論文集』刊行記念「哲学のなかのフェミニズムを考える」です。「女性」にとって哲学とは何か？ 哲学は「女性」に何ができるのか？ 哲学と女性との関係性に切り込むフェアの概要と基本書10点を新刊案内に掲載します（本フェアの申込書は次月新刊案内に同封予定）。

3点目は、11月新刊『神経症的な美しさ』の刊行記念ミニコーナーのご提案です。いわゆる「日本論」については多種多様な書籍がありますが、その中でも日本人が見落としがちな点を再考するのに役立つ書籍をピックアップしました。こちらも新刊案内に書目リストを掲載いたします。

以上、3点につきまして、棚の空き状況を御確認のうえ、ぜひ積極的な展開をご検討ください！

おとご
乙子 智

11月の新刊ラインナップ

詳細は同封の新刊案内／別刷り注文書をご覧ください。今月のみ受注の書目です。



分析フェミニズム基本論文集

木下頌子・渡辺一暁・飯塚理恵・小草泰 編訳

税込予価 3,300 円



神経症的な美しさ アウトサイダーがみた日本

モリス・バーマン 著／込山宏太 訳

税込予価 4,180 円



慶應義塾大学三田哲学会叢書 *ars incognita*

デジタル世界図絵 ヴァーチャル・ミュージアムの取組み

眞壁宏幹・眞壁ゼミ

税込予価 770 円



イスラーム改革派と社会統合

タイ深南部におけるマレー・ナショナリズムの変容 西直美 著

税込予価 5,500 円

● 既刊特集 ●

『犬に話しかけてはいけない』刊行記念！

「はじまりのアラスカ——動物・自然・神話と生きる」フェアのご案内をご用意しました！

話題の本

書評

社会書ご担当者さま ご注目ください！

『〈サラリーマン〉のメディア史』

(2022年8月刊) ISBN: 978-4-7664-2832-2 定価 2,640 円

▶『愛媛新聞』『日本海新聞』『神奈川新聞』(2022年8月28日)、『神戸新聞』(8月27日)、『沖縄タイムス』(8月20日)に書評が掲載されました。評者は高見浩太郎氏(共同通信記者)です。

▶『日本経済新聞』 2022年8月27日に書評が掲載されました。



今月の話題の本は、裏面にも掲載！ ⇨

書評

社会書で担当者さま ご注目ください！

『女性兵士という難問—ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学』

(2022年7月刊) ISBN: 978-4-7664-2835-3 定価 2,640 円

- ▶『東洋経済オンライン』 2022年9月12日「話題の本 著者に聞く」に、著者のインタビュー記事が掲載されました。
- ▶『朝日新聞』 2022年9月10日に書評が掲載されました。評者は藤野裕子氏（早稲田大学教授・日本近現代史）です。



書評

政治書で担当者さま ご注目ください！

『ウクライナの夜—革命と侵攻の現代史』

(2022年6月刊) ISBN: 978-4-7664-2828-5 定価 2,750 円

- ▶『新潟日報』『岩手日報』『山形新聞』（2022年8月28日）、『信濃毎日新聞』『山陰中央新報』『神戸新聞』『宮崎日日新聞』『東奥日報』（8月27日）、『熊本日日新聞』『中国新聞』『愛媛新聞』（8月21日）、『下野新聞』（8月14日）『沖縄タイムス』（8月13日）に書評が掲載されました。評者は松里公孝氏（東京大大学院法学政治学研究科教授）です。
- ▶『日本経済新聞』 2022年8月20日（29面・読書面）「この一冊」に書評が掲載されました。評者は湯浅剛氏（上智大学教授）です。



書評

経済書で担当者さま ご注目ください！

『成長の臨界—「飽和資本主義」はどこへ向かうのか』

(2022年7月刊) ISBN: 978-4-7664-2834-6 定価 2,750 円

- ▶『中央公論』 2022年10月号「新刊この一冊」に書評が掲載されました。評者は諸富徹氏（京都大学教授）です。
- ▶『日本経済新聞』 2022年9月10日「短評」に本書が掲載されました。
- ▶『朝日新聞』 2022年9月3日に書評が掲載されました。評者は神林龍氏（一橋大学教授・労働経済学）です。



※弊社 Web サイトでは書店様専用ページ（<http://www.keio-up.co.jp/shoten/>）を設けております。

Twitter (@KEIOUP)、Facebook (facebook.com/keioup) では、最新刊のご案内に加え、フェアやイベントの情報も掲載し Instagram (instagram.com/keioup/) では、書影を中心にご紹介しています。note (note.com/keioup) では、試し読みの記事なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください！

◆弊社 web サイト



◆Twitter



◆Facebook



◆instagram



◆note



【番線印】

話題書のご注文は今すぐFAXで！

03-3451-3122

出荷条件:返品条件付注文品

◎話題の本

ISBN は 978-4-7664 を省略しています。

ご注文部数	書名	著／編者	ISBN	判型 / 頁数	定価	刊行年月
	〈サラリーマン〉のメディア史	谷原史	2832-2	四六判上 / 292	2,640 円	2022 年 8 月
	女性兵士という難問 ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学	佐藤文香	2835-3	四六判上 / 330	2,640 円	2022 年 7 月
	ウクライナの夜 —革命と侵攻の現代史	マーシ・ショア / 池田年穂 訳 / 岡部芳彦 解説	2828-5	四六判上 / 288	2,750 円	2022 年 6 月
	成長の臨界 —「飽和資本主義」はどこへ向かうのか	河野龍太郎	2834-6	四六判上 / 548	2,750 円	2022 年 7 月